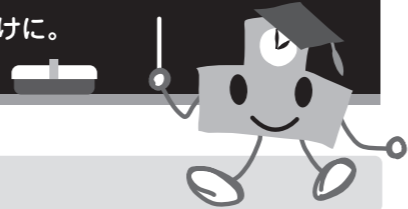


「ゴーヤプロジェクト」で全国各地の学校と交流。

沖縄の小学校から送られてきたゴーヤの種を5月8日に全国一斉に植え、成長の違いを観察する取組。他の参加校との交流をとおり、他の地域自然環境にも目が向けられ広い視野で環境について考えるきっかけに。



内容 5月8日 全国一斉に植えよう!!

「ゴーヤプロジェクト」は、沖縄の小学校から送られてきたゴーヤの種を、5月8日(ゴーヤの日)に全国一斉に植え、成長の違いを観察するというもの。観察を通して、子供たちの相互交流を図ることが目的である。沖縄で始まったこの活動は、今では全国各地の学校が取組んでいる。

本校ではインターネット上で全国の先生がゴーヤの栽培方法などについて情報交換していることを知り、北海道でも栽培できるかどうか平成20年度の5年生、3クラスが挑戦してみた。「ゴーヤの日」に子供たちが学校の窓下のスペースにゴーヤの種を植え、栽培を始めた。また、あわせてWEB上の掲示板でゴーヤの成長記録を紹介し合い、絵葉書での交流も行った。

今後 交流校からの葉書で各地の自然環境の違いを知る

残念ながら札幌ではゴーヤの花は咲いたが実は成らず、日よけのための「グリーンカーテン」として活用するのであれば、効果的という結論であった。

全国の交流校から送られてくる絵葉書の中には、学校から見える風景や校舎の外観などを撮影した写真と説明が添えられていて、全国各地のようすを知ることができ、子供たちがさまざまな地域の自然環境に関心をもつきっかけとなった。中には手作りの絵葉書もあり、情操教育にもつながっていると考える。



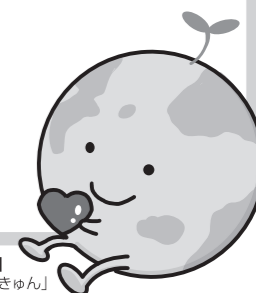
学校の紹介文を考える子供たち

広げよう
つなげよう
環境学習の輪

実施校から
メッセージ

本校は、地域と連携しながらできる「身近な環境に目を向けた活動」を目指しており、PTA発案による発寒川の清掃を年2回行っています。本校ではPTA活動が独特な組織形態をとっており、ボランティア型(参加できる活動を保護者からの希望で決定)の運営形態になっているため、保護者メインの活動に子供たちも気軽に参加できる環境になっています。環境に関するイベントに参加することは、そのイベントをとおり授業に続けて取り入れやすく、また発展させて他の活動につなげることもできるため、大変効果的だと感じています。環境について、小学生の子供たちに「自分で何ができるか、この活動がどのように役に立っているか」ということを自覚できるように工夫することが大切なのではないでしょうか。

MEMO



未来の札幌を見つめる【環境】
イメージキャラクター「ちっせゅん」

ごみ分別・資源物回収

リングブル ペットボトル キャンプ収集

フードリサイクル 農園

身近なリサイクル

清掃活動

植樹・花壇

ビオトープ

ソーラーパネル

委員会 児童会

地域と協働

その他